

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年4月2日(2009.4.2)

【公表番号】特表2008-530137(P2008-530137A)

【公表日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【年通号数】公開・登録公報2008-031

【出願番号】特願2007-555369(P2007-555369)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/04	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/14	(2006.01)
A 6 1 P	31/22	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
C 0 7 K	14/54	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	Z N A
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	17/04	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	17/14	
A 6 1 P	31/22	
A 6 1 P	17/02	
C 0 7 K	14/54	
C 0 7 K	16/18	

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月16日(2009.2.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号2又は配列番号4に示すアミノ酸配列を含むポリペプチドに特異的に結合する抗体又は抗体フラグメントを含む、哺乳動物の罹患皮膚を治療するための医薬組成物であつて、

該罹患皮膚は皮膚リンパ球抗原陽性T細胞によって特徴付けられ、該医薬組成物の投与によつて該罹患皮膚が改善し、予防し、阻害し又は減少する、前記医薬組成物。

【請求項 2】

配列番号 2 又は配列番号 4 に示すアミノ酸配列を含むポリペプチドに特異的に結合する抗体又は抗体フラグメントを含む、哺乳動物の搔痒を処置するための医薬組成物であって

該搔痒は膚リンパ球抗原陽性T細胞によって特徴付けられ、且つ該医薬組成物の投与によつて該搔痒が改善し、予防し、阻害し又は減少する、前記医薬組成物。

【請求項 3】

IL-31抗体又は抗体フラグメント治療を必要とする個体から得られた生物学的サンプルから循環皮膚リンパ球陽性T細胞を単離し、そして該単離した皮膚リンパ球陽性T細胞からのIL-31産生を検出すること、を含む検定方法であつて、該検定の結果が、該個体におけるIL-31抗体又は抗体フラグメントに対する治療的応答を予測するために使用される、前記方法。

【請求項 4】

前記皮膚リンパ球抗原陽性T細胞を刺激又は活性化する追加のステップを含む、請求項3に記載の方法。

【請求項 5】

前記哺乳動物が接触皮膚炎、薬物誘導遅延型皮膚アレルギー性反応、中毒性表皮剥離症、皮膚T細胞リンパ腫、水疱性類天疱瘡、円形脱毛症、白斑、酒さ、結節性痒疹、及び単純ヘルペスウィルスから選ばれる皮膚疾患有する、請求項1又は2に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

前記アンタゴニスト分子が配列番号2で示されるアミノ酸配列を含むポリペプチドに特異的に結合する、請求項1、2又は5に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

前記アンタゴニスト分子が配列番号4で示されるアミノ酸配列を含むポリペプチドに特異的に結合する、請求項1、2又は5に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

前記罹患皮膚が搔痒である、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

前記個体が接触皮膚炎、薬物誘導遅延型皮膚アレルギー性反応、中毒性表皮剥離症、皮膚T細胞リンパ腫、水疱性類天疱瘡、円形脱毛症、白斑、酒さ、結節性痒疹、及び単純ヘルペスウィルスから選ばれる皮膚疾患有する、請求項3又は4に記載の方法。

【請求項 10】

前記アンタゴニスト分子が配列番号2で示されるアミノ酸配列を含むポリペプチドに特異的に結合する、請求項3、4又は9に記載の方法。

【請求項 11】

前記アンタゴニスト分子が配列番号4で示されるアミノ酸配列を含むポリペプチドに特異的に結合する、請求項3、4又は9に記載の方法。